

提出日 2024年12月20日

Nissyの恋愛ソングの歌詞考察から考えるNissyの恋愛観

23c1079 中村真桜

はじめに

Nissyは日本の歌手であり2024年ソロアーティストとして初めて2度目の6大ドームツアーを開催するということで話題になっているアーティストである。Nissyの楽曲は恋愛に関連するものが多く、楽曲を聞く多くの人からの支持を得ている。その中でもほとんどが男性視点からの恋愛ソングであるためNissy自身の恋愛の実体験が歌詞に組み込まれているのではないかと考えた。そのため、今回はNissyが作詞を手掛けた恋愛ソングの歌詞からNissyの恋愛観を考えていきたい。

1.Nissyについて

本名は西島隆弘。1986年9月30日生まれ、北海道出身の歌手である。2005年9月14日男女混成の音楽ダンスグループ「AAA」としてシングル「BLOOD on FIRE」でメジャーデビュー。2013年8月にNissy名義でソロ楽曲「どうしようか?」のMVをYouTubeに公開。2014年11月第1弾楽曲「どうしようか?」をCD化しiTunesなど各配信サイトからの配信もスタートした。2016年3月1stアルバム「HOCUS POCUS」をリリースし、配信リリース日にはiTunesアルバムランキング1位を獲得した。2016年9月から初めてのライブである「Nissy Entertainment 1st LIVE」を開催した。2018年2月から開催した「Nissy Entertainment 2nd LIVE」の中で2月4日が「Nissyの日」として日本記念日協会により認定、登録されたことを発表した。4月には「Nissy Entertainment 2nd LIVE-FINAL-in TOKYO DOME」を開催し初の東京ドームでのライブを行った。2022-2023年には「Nissy Entertainment 4th LIVE~DOME TOUR~」を開催、追加公演を札幌ドームで行うことを発表しソロアーティスト史上最年少での6大ドームツアーを行った。2023年8月から「10th Anniversary LIVE VIEWING TOUR 2023-Nissy Meets You-」を開催し全国のファンと交流した。2024年11月から「Nissy Entertainment”Re:10th Anniversary Final” BEST DOME TOUR」を開催し、ソロアーティスト史上初、2度目の6大ドームツアーを行っている。

2.調査方法

2024年12月時点でNissyが作詞に関わった楽曲38曲の内、恋愛ソングに分類される楽曲を対象楽曲とする。恋愛ソングを進行形と失恋の2つに分類し歌詞考察を行い、そこからNissyの恋愛観を考える。選曲した4曲を中心に調査を行っていくが恋愛観を考える際には4曲以外の恋愛ソングの歌詞も抜き出して併せて考える。

恋愛ソングの定義、進行形と失恋の定義としては以下のように定めた。

【恋愛ソング】 恋愛についての表現があり、「君」「あなた」と呼ばれる相手が登場する

【進行形】 恋愛についての表現があり、別れの表現がないもの

【失恋】 恋愛についての表現が過去形であったり、別れの表現のあるもの

定めた定義に当てはめて選曲したのは以下の4曲である。

1, Girl I Need (2017/12/24 リリース) 【進行形】

2, Don't let me go (2017/12/24 リリース) 【失恋】

3, 君に触れた時から(2022/1/24 リリース) 【失恋】

4, I Need You (2022/7/7 リリース) 【進行形】

3. 調査結果

「**Girl I Need**」 (2017/12/24 リリース)

<ここに歌詞が掲載されていますが、ネット公開版では省略します。>

1~3 の歌詞から主人公は何かきっかけを作るために自分から行動する積極的なタイプだということが読み取れる。4~7 は現在でも君(女の子)を知っていくたびにその子からの愛を欲しくなってくるということを表すものだと考えた。ここでは4~7 はすでに恋人関係になっていると考えられるため1~3 では主人公(男性側)が恋人を初めて出会ったときから好きだということを表現するためのものだと考えた。

8~16 はこの曲のサビに当たる部分である。8~11 では相手の笑顔や仕草を見て悔しいけどどんどん好きになっていることが分かる。12~16 は素直になれない性格を天邪鬼と表現していて素直な気持ちを直接伝えることはできないけれど心の中で想っているということが分かる。「悔しくなるけど」の歌詞も天邪鬼な性格を表す表現になっていると考えた。

「You're the girl I need」が英語なのは語呂合わせの意味に加えて「素直になんて言えないよ」の意味も込めて日本語だと直接的すぎるから英語で表現しているのだと考えた。

17からは2番に入る。17~20 は歌詞の通り、瞬きをする時間すら惜しく行動のすべてを覚えておきたいくらい惚れていることを表現する歌詞だと考えた。21には1番と同じフレーズが出てきているがそれに続く言葉が変わっている。ここでは付き合い始めた頃にたてた約束によって状況が変わった現在、何もできずにいてもどかしい感じを表していると考えた。また、「約束はしないでおこう」という約束をたてたことによって他の誰かと一緒にいてもそれについて何か言えないという歌詞から、1番でたてた約束を後悔しているように考えられる。これはこの約束をたてた頃よりも彼女のことを好きになっているということ表現していると考えた。

24の後に8~16のサビと同じ歌詞が入る。

25~28では「この瞬間がどうか永遠に変わっていくように」とあるように今の瞬間を永遠に残しておきたいのではなく、変わっていくことを望んでいる。これは、このままの関係を続けていくことで新たな思い出も増え幸せな瞬間も永遠に変わっていくということを意味していると考えられる。

29~37はサビの部分と大きな変わりはないが35の歌詞の部分だけ変わっている。サビでは「素直になんて言えないよ」だったものが「素直に言ってもいいかな」に変化している。これは33,34の歌詞を踏まえて考えると天邪鬼な性格だから言葉のすべてが本心ではないということを使ったうえでの35の歌詞であるため36の言葉は本心ではあるが言葉のすべてを信じないでといった後に伝えた言葉であることから照れ隠しの意味もあると考えられる。

「Don't let me go」(2017/12/24 リリース)

<ここに歌詞が掲載されていますが、ネット公開版では省略します。>

この曲は「Don't let me go」という曲名から読み取れるように失恋の曲である。「Don't let me go」という言葉には「私を離さないで」という意味があり1~2の部分は「もう君には会えない」という歌詞があることから主人公はおいて行かれた側、振られた側なのだとということが分かる。

3~10は2人のデートの思い出の描写だと考えられる。映画を見に行ってからそのあとの会話など懐かしい思い出の描写だと考えた。

11~12からは主人公が後悔していることが読み取れる。「素直に言葉にできてたのならどんな今だったんだろう」という歌詞から主人公は思ったことを素直に相手に伝えられない性格なのだとということと素直になれなかったことで今の状況になってしまったと後悔しているようにも読み取れる。

13~19はこの曲のサビの部分である。13~16は2人が別々の道を選んだことによってもう一緒にはいられないことを表している。15の「隣にいて欲しい」という言葉も11,12の歌詞から考えると、思っているだけで声に出して伝えることが出来ていなかったのではないかと考えた。17~19は「Don't let me go」という歌詞を繰り返している。「Don't let me go」が私を離さないでという意味だということを見ると、14の「選んだ道を進んで」という部分は相手が別の道を進んでしまったという意味だと考えられる。

20から2番に入る。20の「Stories」はインスタグラムのストーリーのことだと考えられる。20~23の描写は2人が離れる前のことだと考えられるが、そのことをずっと覚えてい

るくらい素直に感情を出せなかったことを気にしているのだと考えた。

24~27 も2人が離れる前の思い出の描写だと考えられる。ヒロインとヒーローはお互い主人公であることから自分を主人公として未来の話、理想を話したということだと考えた。

28~29の歌詞からは28に「迷わず手を取り奪えてたなら」とあるように26,27のところ
で未来の話を語っていた時に相手の問いかけの答えを迷ってしまいそのまま離れてしまっ
たことを後悔していると読み取れる。

29の後に13~19のサビと同じ歌詞が入る。

30~32は離れる前の2人には戻れないけれど夢の中で会えたらもう2度とあなたを離さ
ないということを表している。今までは私を離さないでと相手に願う形だったが、ここでは
あなたを離さないと言っている。ここでは主人公の気持ちの強さを表していると考えた。も
う元には戻れないことを受け入れたうえで夢で会えたらもう離さないというところから今
でも相手のことを思っているということが読み取れる。

33~39はサビの部分とほとんど同じだが、35,36の部分が変わっている。「隣にいて欲しい
」という言葉が相手が言っていたということが分かる。今まで出てきた「隣にいて欲しい」
には鍵かっかが付いていなかったが、35にはついている。これは実際に声に出して言った
言葉なのということが分かる。36の「そう言っていたのに」には隣にいて欲しいと言っ
ていたのに離れていってしまった相手への文句のような意味が込められていると考えた。

40~46もサビの部分と同じだが43のところの歌詞だけ変わっている。サビでは「君には
もう会えないなんて」と言っていたところがここでは「僕はいつでも迎えに行くよ」となっ
ている。これは主人公の気持ちの変化が表されていると考えた。会えないなんてと落ち込ん
でいたところから相手が望むならいつでも迎えに行くという前向きな気持ちに変わったと
いうことが読み取れる。また、いつでも迎えに行くというところから主人公の相手への気持
ちが変わらないことが読み取れる。

「君に触れた時から」(2022/1/24 リリース)

<ここに歌詞が掲載されていますが、ネット公開版では省略します。>

1~3の歌詞はこの曲で何回も繰り返される部分であり、主人公が「君」と呼ぶ相手を大切
にしていることが分かる。これは初めて会った時から僕にとって「君」は特別な存在だとい
うことを表していると考えられる。

4~8からは「君」と呼ぶ相手は同棲していた恋人でありその恋人がいなくなってしまった
ことが分かる。4,5は同棲していたころの日常、6~8からはいなくなってしまった恋人に未
練があるということが分かる。4,5は同じベッドで寝て足が当たった時の主人公視点の恋人

の行動だと考えられるが、この行動が日常となっていたが今では思い出となってしまいもう感じることをできない寂しさを表していると考えられる。6~8 は4,5 といった二人で過ごした思い出や生活感を見たくないけど消したくもないという感情を表していると考えられる。

9~11 の歌詞はどこか諦めているような口調だが恋人に対しての未練があるということが分かる。ここは 2 人の気持ちに違いがあり一緒に生活してきた相手でもお互いの気持ちを理解しあうことは難しいということ表現していると考えられる。

12~19 はこの曲のサビの部分である。12~15 は始めと同じで初めて会った時から特別な存在だということを表していると考えられる。16~19 もやっと見つけた理想の人だから離れたくないというストレートな表現であると考えられる。

20,21 は恋人関係であった頃の描写だと考えられる。これは連絡が来てすぐに会いに行くという行動から主人公が恋人のことをとても愛していて考えていることを表していると考えられる。22,23 は君の隣が僕じゃなくてもそこを咎める権利はもう持っていない寂しさとそれでも会えるのなら会いたいんだという主人公の熱い気持ちを表す歌詞であると考えた。

24~27 は別れ話の時の状況だと分かる。24 の歌詞から最後であることは主人公も感じ取っているからこそ最後は不機嫌になってほしくないといったことになる分かる。君が望んでいるのなら君のために僕から話を切り出すよという歌詞から君のためになるなら別れという相手への愛を表現していると考えた。

28~35 は 2 番のサビに当たる部分である。28,29 は君のために別れを選んだけれど苦しいという感情がストレートに表現されている。32,33 は 2 つの心があったものが 1 つの愛だけになるという意味だと考えられる。35 は君からのもうひとつの愛を待っているということの意味を意味して今でも僕の方はずっと愛しているということを表していると考えた。

36~40 は君に向けた行かないでという思いを伝えられなかったため今でも傷が癒えないということを表す表現であると考えられる。相手に向けた直接伝えることが出来なかった気持ちを「形ない Love letter」で表していると考えられる。

41 からは最後のサビの部分である。41-48 は今まで出てきたサビの繰り返しである。

49 は直接的な言葉で「君」を待ち続けるというこの曲通して一番伝えたいであろう一途な思いを表現していると考えられる。

「I Need You」(2022/7/7 リリース)

<ここに歌詞が掲載されていますが、ネット公開版では省略します。>

1~8 の歌詞からは主人公(僕)が相手のことを大事にしていることが分かる。5,6 の「来月

の記念日も好きな花を送るよ」からは毎月記念日には花を送っているという様子が読み取れる。

9~11 は全部の願いを叶えたい、毎日近くで支えたいと言っていて主人公は相手にとても惚れ込んでいるということが分かる。

12~22 はサビの部分である。12~17 の「I need you」は毎朝相手に一番最初におはようを言うために君が必要という意味のもので 18~22 の「I need you」は頑張っねという言葉のお守りをもらうためには君が必要という意味だと考えた。

27~32 ではケンカしても平和的な解決ができるということからお互い穏やかな性格なのだと考えた。33~36 はこの生活がウソでも勘違いしたままでいいということを行っている。ここではウソだと疑ってしまうくらい幸せでこの関係が続いてほしいということ表現していると考えた。

37~48 は 2 番のサビの部分である。37~42 は口にしなくても通じ合えるくらい関係性になってきているがしっかり言葉にして伝えるというところで主人公がまめな性格なのだと考えた。43~48 は 2 人で価値観のすり合わせをするのも不安だけど楽しく幸せに感じるということは何をしても 2 人なら幸せということを表現していると考えた。

49~53 からは主人公が相手のことをとても好きだということが分かる。また、「あなたといつまでも一緒にいたい」という歌詞は相手に向けた言葉だと考えた。

58 からは最後のサビに入る。「これからも」や「この先も」という未来についての話をしているところからも主人公がずっと相手を大切にしていることが分かる。70 の「愛してるずっと」はここまでの歌詞で直接的な愛の言葉が出てくることはなかったけれど最後に言うところが言い逃げのようで 69 の「照れくさい」という歌詞を回収していると考えた。

4.歌詞から考えた恋愛観

ここでは Nissy 作詞の恋愛ソングの歌詞から恋愛観を考える。また、上の 4 曲の楽曲以外の恋愛ソングからも歌詞を抜き出して考えていく。

Girl I Need 「素直になんて言えないよ」【進行形】

Don't let me go 「素直に言葉にできてたのなら」【失恋】

君に触れた時から 「形ない Love letter 宛名は君で 封じたまま」【失恋】

ワガママ 「あの日あなたに いいかけた言葉 私の中に隠してよかった」【失恋】

I Need You 「照れくさいけど愛してるずっと」【進行形】

進行形でも失恋の曲でも多くの曲で素直になれない主人公が登場する。また、I Need You では直接的な愛の言葉をかけているが照れが入った言葉となっている。

Girl I Need 「他の誰にも触れさせたくないから」【進行形】

Jealous「僕以外のやつと 君が一緒だと Girl,why you make me jealous 心配になって 何も手につかないや」【進行形】

進行形の楽曲で相手には言わず束縛もしないけれど嫉妬している主人公の描写が出てくる。相手に直接伝えないのは伝えることに照れがあったり口下手なタイプだからだと考えた。

ここから Nissy 自身も照れ屋で愛情表現や自分の素直な感情を口に出して相手に伝えられないタイプなのだと考えた。

Don't let me go「素直に言葉にできてたのなら」「迷わず手を取り奪えてたなら」【失恋】

テレパシー「ぼくがあの時強く抱きしめていられたら」【失恋】

君に触れた時から「僕は変わらずずっと好きだってこと」【失恋】

Don't let me go「僕はいつでも迎えに行くよ」【失恋】

Don't Stop The Rain「遠い記憶無意識に浸って気付けば虚しさばかりが」【失恋】

Aquarium「いたずらな笑顔忘れられないまま」【失恋】

失恋ソングでは〇〇できていたらという行動の後悔が多い。また、離れても忘れられず相手を思い続けているという主人公も多く登場する。これは〇〇できていたらという後悔が残っているから離れても忘れられないのだと考えた。ここからは失恋を引きずりやすいタイプなのだと考えることが出来る。

Girl I Need「1st sight なんとなく目が離せなくて」【進行形】

君に触れた時から「君を知った時から」【失恋】

進行形でも失恋ソングでも相手と初めて会った時から特別な感情を抱いている主人公が登場する。どちらも一度恋愛関係が成立しているということを考えると、自分から積極的に行動して恋愛関係に進展させることが出来ているということが分かる。

ここから Nissy も相手を好きになるのは直感的であり、好きになった相手には積極的にアピールして恋愛関係にまで進展させるタイプなのではないかと考えることが出来る。

5. 今回の調査を行った感想

今回の調査では歌詞から恋愛観を推測するというものであったが、調査内容が恋愛観の推測であったために私の主観的な考えを書く感想文のようだった。恋愛観を探ると言っても歌詞の深堀が不十分で浅く薄いものになってしまった。進行形と失恋ソングの定義がいまいであったため4曲以外を出す際に苦労することがあった。また、Nissy が作詞を手掛けた恋愛ソングの中でも一部にしか触れることが出来なかった。今回は4曲を中心に歌詞考察を行ったが、比較的歌詞の意味が分かりやすいものだったため特に難しさは感じなかった。他の歌詞分析を見るとほとんどが数量的分析で行われていた。次回歌詞分析を行う際は数量的分析に挑戦してみたいと思った。

参考文献

興石麗臣(2023) 椎名林檎、東京事変の歌詞考察から考える椎名林檎の価値観

出典

Nissy(西島隆弘)OFFICIAL WEBSITE <https://nissy.jp/>

2024年12月20日アクセス

Uta-Net <https://www.uta-net.com/>

2024年12月20日アクセス